



# 園だより

文京区立第一幼稚園  
令和4年度12月号

URL <http://www.bunkyo-tky.ed.jp/dai1-kg/>

## 土の庭での出会いから

園長 田村 秀子

園庭のイチョウとカエデがようやく色付き始め、第一幼稚園の園庭はこれからが秋の一番美しい姿となります。アカメガシワやケヤキの葉は残り少なくなり、冬の足音を感じます。朝の落ち葉掃きをしてくださっている方々、ありがとうございます。予定の日程は終わりましたが、落ち葉はこれからも本番です。青少年赤十字活動の一環として、子供たちも落ち葉集めや落ち葉掃きができたと思います。

先日は、園庭で焼き芋会をしました。土の庭にブロックでかまどを作り、薪を燃やしました。朝から焚火の火が燃え、焼き芋委員やボランティアのお父さんやお母さんがたくさん集まっています、子供たちにとってはいつもと違う、非日常の土の庭でした。煙の匂いや火の温かさ、知り合いのお父さんやお母さんがいる嬉しさなど、子供たちは様々なことを感じていたと思います。「テントがほしい」「ここでキャンプしたい」など、キャンプのイメージをもった子もいました。

お父さんたちが火を燃やし、イモがうまく焼けるように相談して力を合わせているところを見たり、お母さんたちに濡れた新聞紙やアルミホイルでイモをくるむことを教えてもらったりして、新しい体験をした子供たちです。子供たちが一人ずつくるんだイモをかまどの中に投げ入れる時には、お父さんやお母さん、友達が応援してくれて嬉しそうでした。三分の一にカットしたイモを170個近く焼きましたが、焦げたり生焼けになったりすることもなく、ホクホクの美味しい焼き芋ができました。お父さんたちは全体がムラなく焼けるように炭を寄せたり、かまどを狭めたり、焼け具合を串で刺して確かめたりなど、知恵を出し合って工夫してくださり、さすがだなと思いました。

また「こういう焚火は久しぶりです」「身近なところで焚火ができるのはいいですね」「土の庭だからできるんですね」など、保護者の方といろいろな話をすることもできました。土の庭にある土管に興味をもったお父さんもいらしたので、調べてみました。



土の庭の2つの陶器の土管は、昭和30年代に本郷の喜福寺より寄贈されたものだそうです。かつては飲料水用の土管として使われた物で、表面には「五七の桐」の紋様があります。この紋様は平安時代から天皇の衣類や調度品に使用され、足利将軍家や織田信長、豊臣秀吉に付与され、明治政府、曹洞宗の寺なども用いた紋様だそうです。きっと由緒ある土管なのでしょう。今は子供たちが登ったり隠れたりして大好きな遊具です。少しヒビが入り修理しながら使っていますが、これからも大事にしていきたいと思います。



子供たちにとって楽しみが多い12月。これから音楽会やお楽しみ会など、楽しいことがたくさんあります。身近な出来事などから取り入れたイメージを一人一人が楽しむ姿や実現しようとする姿をしっかりと受け止め、友達と一緒に創り上げる満足感や達成感を味わえるよう日々の環境を工夫していきたいと思っています。子供も大人も充実感をもって2学期を終われるように、健康に気を付けて過ごしましょう。